

# 感染予防

岩手県立山田病院  
臨床検査技術科

# 空気感染

## 1) 空気感染とは

病原体を含む飛沫核(5 $\mu$ m以下)が長時間空気中を漂い、空気の流れによって拡散され、同室内だけでなく遠く離れた感受性のある人が気道へ吸入することで伝播する感染経路である。

## 2) 空気感染を起こす主な病原体

- ・ 結核菌
- ・ 水痘ウイルス
- ・ 麻疹ウイルス
- ・ SARSコロナウイルス(SARS-CoV)\*

\*SARS(MARS)については、2007の隔離予防策のためのガイドラインに「日和見的な空気感染も否定できないが」とあり、空気感染が確定している訳ではない

# 飛沫感染

## 1) 飛沫感染とは

咳やくしゃみの際に飛び出す $5\mu\text{m}$ 以上の大きさの飛沫に含まれる微生物が、 $2\sim 3\text{m}$ 以内にいる人の目や鼻、気道の粘膜と接触することによって伝播する感染経路である。

およそ $2\text{m}$ の距離で接する際に伝播され感染する危険性が生じる。

飛沫は空気中を浮遊せず、通常短距離(約 $2\text{m}$ )を飛散するのみである。

## 2) 飛沫感染を起こす主な病原体

- ・インフルエンザウイルス
- ・風疹ウイルス
- ・マイコプラズマウイルス
- ・流行性耳下腺炎ウイルス

# 接触感染

## 1) 接触感染とは

感染者との直接接触や、汚染された物を介した間接接触によって起こる感染である。汚染した手により、感受性のある人へ媒介・伝播されることが重要な点である。

## 2) 接触感染を起こす主な病原体

### 1. 多剤耐性菌

- ・MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)
- ・VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)
- ・VRSA(バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌)
- ・MDRP (多剤耐性緑膿菌)
- ・MDRAB(多剤耐性アシネトバクター・バウマニ)
- ・ESBL産生菌
- ・CRE(カルバペネム耐性腸内細菌)

### 2. 腸管出血性大腸菌・赤痢

### 3. 感染性胃腸炎

- ・ノロウイルス
- ・ロタウイルス

### 4. クロストリディウム・ディフィシル

### 5. 疥癬(ヒト疥癬虫)

# 手指衛生

(CDC手指衛生のガイドライン2002より)

## 1. 定義

すべての感染予防策の基本となり、感染防止に一番大きな役割を果たすのが手洗いである。

手指衛生とは、手洗い、手指消毒のいずれも含んだ総称である。

## 2. 手洗いの種類

- 手洗い: 普通石けん(非抗菌性)と流水による物理的な手洗い
- 手指消毒: 手指洗淨消毒薬と流水で手指を洗淨消毒することまたは、擦式手指消毒薬で手指消毒すること

# 石けん流水による手洗い

## 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



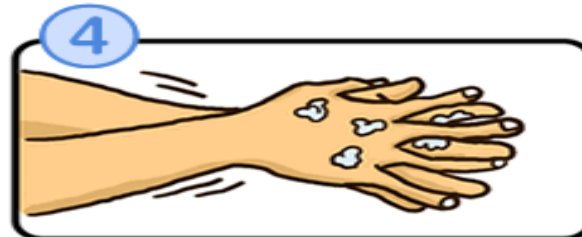
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

# 手指消毒

